

2016.2.1

のへじ

第154号

議会だより



東北電力（株）東通原子力発電所を視察

12月
定例会

議会審議内容	2
一般質問	3～5
議会報告会開催内容について	6～7
委員会報告	8～10
地域活動の紹介、議会の動き、3月定例会の日程	10

平成27年第7回定例会

平成27年第7回12月定例会は、12月2日から4日の3日間の会期で行われました。
町長からは、報告事項2件、平成27年度補正予算4件、条例改正3件、その他の議案2件が提出され、それぞれ原案どおり可決、同意しました。

12月議会の議案審議結果

議案第59号	平成27年度一般会計補正予算（第5号）	全員賛成可決
議案第60号	平成27年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	全員賛成可決
議案第61号	平成27年度介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	全員賛成可決
議案第62号	平成27年度水道事業特別会計補正予算（第2号）	全員賛成可決
議案第63号	町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例	全員賛成可決
議案第64号	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	全員賛成可決
議案第65号	町税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例	全員賛成可決
議案第66号	第二期野辺地町過疎地域自立促進計画の策定の件	全員賛成可決
議案第67号	町教育委員会委員の任命の件	全員賛成同意



議案第67号
野辺地町教育委員会委員
横濱 秀一氏
に同意
教育委員会委員の任期が平成27年12月19日に満了することから、横濱秀一氏の再任に同意しました。

横濱 秀一氏
(よこはま しゅういち)
住所 馬門37番地1
昭和14年11月28日生
昭和35年3月
弘前大学
野辺地分校修了
昭和35年4月
六ヶ所村立
泊小学校教諭

平成12年3月
馬門小学校校長退職
平成13年12月
町民生委員・児童委員
平成15年12月
町教育委員会委員
平成16年10月
町教育委員会委員長

平成27年度 補正予算

	補正額	総額
〈一般会計〉 (第5号)	4000万円	65億2500万円
〈特別会計〉		
国民健康保険事業 (第3号)	1092万円	23億7079万円
介護保険事業 (第3号)	559万円	15億4139万円
水道事業 (第2号)		2億9571万円

●収益的収入及び支出
○収益的収入及び支出の総額に変わりなく、修繕費を450万円と消費税の不足見込額600万円を増額し、予備費で調整しました。



江渡 正樹議員

**野辺地工業団地の
ゲストハウスの
利活用について**

江渡議員

昭和の高度成長時代にサントリー野辺地原酒工場の誘致が決まりました。しかし、その後ウイスキーの消費が落ち込み、サントリー原酒工場の着手が保留となる中、貯蔵庫2棟が建設されましたが、後に解体撤去され、工場用地はサントリーより町へ無償譲渡され、サントリー野辺地原酒工場建設計画は白紙となりました。現在は、サントリー原酒工場誘致の形跡として、ゲストハウスとそれに付随した響池があります。政府が進める地方創生を利用し、都心より

地方へ営業拠点を移すと、いろいろの利点を与えられると報道されています。世界一流企業がつくられた建坪237㎡のゲストハウスとそれに付随した響池は、町の貴重な財産であり、地方創生の制度を活用する絶好のチャンスであると思います。中央の企業の本社事務所もしくはコールセンターとして中央企業にアピールしてはと思います。考えを伺います。

**検討委員会報告書
に沿う形で企業
誘致を行う**

中谷町長

野辺地工業団地は、平成20年8月に約109haの土地を町が寄贈を受けています。この寄贈に含まれる形で寄附を受けましたのが、管理事務所と敷地入り口にありますが、さらには沈砂池や橋などがあります。この沈砂池や橋が通称響池、響橋と呼ばれ、非

常にすばらしい景観をつくり出しており、町としても貴重なものであると認識しています。工業団地内の管理事務所、中央企業の本社機能の移転やコールセンターの誘致についてですが、第1点目として管理事務所は建坪約70坪程度、企業の本社機能移転やコールセンターには極めて手狭ではないかと考えています。

2点目として、平成25年10月に野辺地町企業誘致推進検討委員会報告書が答申され、野辺地工業団地の有効活用策が具体的に提案されています。この提案内容に沿う形で企業誘致に向けたトップセールスを行っていますので、現状では方針変更は難しいと考えますが、

企業の地方移転による東京一極集中の是正が地方創生に向けた政府の総合戦略の基本でもあり、法人税の軽減や不動産取得税、あるいは固定資産税の軽減などの優遇策が準備され

ていますので、今後の政府の動向を注意深く見守り、町内への企業誘致につきましても臨機応変に対応します。企業誘致は地域の活性化あるいは雇用の場の創出、若者の定住促進のため非常に重要な施策ですので、一日も早い誘致が実現するよう鋭意努力します。



旧管理事務所の様子

**一億総活躍に対する
町の取り組みについて**

江渡議員

政府が一億総活躍社会を打ち出しました。町としてどのように取り組む計画でいるのかそして、地方創生、みちのく丸、過疎対策との整合性について考えを伺います。

第5次野辺地町まちづくり総合計画後期基本計画にて整合性は確保されている

中谷町長

アベノミクス第2ステージの第1点目、希望を生み出す強い経済を実現するため、名目GDP600兆円を目指す。第2点目、夢を紡ぐ子育て支援として希望出生率1.8がかなう社会の実現。第3点目、安全につながる社会保障として介護離職者数をゼロにすることとしており、誰もが生きがいを持って充実した生活を送ることができ、社会をつくるものと定義されています。

政府の緊急対策メニューとして、最低賃金の引き上げ、低年金受給者への給付金支給、特別養護老人ホームなどの整備促進、さらには保育の受け皿の拡大などが発表されましたが、具体的な自治体などに對する対策や予算等が示されていない現

段階において、町はどのような取り組みができるのか、不確定要素が多々あります。

今後の補正予算や来年度予算編成などの政府の動向を注視したいと考えています。

また、地方創生、みちのく丸、過疎対策との整合性についてですが、これらの計画の根本は、第5次野辺地町まちづくり総合計画後期基本計画です。地方創生に向けた総合戦略として緊急に実施すべき事項や、過疎対策として有効な事業、さらにはみちのく丸を核とした観光振興対策など、さまざまな要件を加味しつつ、それぞれの計画や事業化に向けた施策を立案しています。その内容においても町の産業の活性化、少子化対策の推進、高齢者世帯への支援の充実など、一億総活躍社会の基本的な目標と整合性は確保されているものと確信していますので、ご理解をお願いします。



中谷 謙一議員

犬、猫の殺処分
ゼロにする取組
について

中谷議員

優しさあふれる人と動物が共生する社会の実現を目標に、犬と猫の殺処分をできる限り減らし、最終的にはゼロにすることを目指し、人と動物が幸せに暮らす社会の実現プロジェクトが平成25年9月施行の改正動物愛護管理法に伴い、同年11月、環境省動物愛護管理室に立ち上がりました。それに従い、前向きに取り組みを実施している自治体も少しずつではありますが、出てきています。

当町においては、法の施行後、今日までの2年間、どのように取

り組んでこられたのでしょうか。当町で保護された犬、猫の保健所、青森県動物愛護センターへの引き渡し、その後動物たちへの追跡調査とかはなされているのでしょうか。

これからも犬、猫をはじめとする動物たちの保護活動に取り組んでいただき、県内市町村に先駆けて殺処分ゼロを宣言できるような野辺地町としての体制をつくり上げていくことに関しての考えを伺います。

最後に、三本木農業高校愛玩動物研究科の生徒さんが取り組む「命の花プロジェクト」というプロジェクトがありますが、活動が不必要になる日がないでも早く来ることを望みます。

人と動物の共生は
笑顔あふれるまち
のへじにつながる

中谷町長

人間社会における犬や猫などの飼養動物は、

近年、社会環境の変化やライフスタイルの多様化などから、愛玩動物または伴侶動物として生活に欠かせない存在になりつつあるのは認識しているところであります。また、人間形成の基礎が培われる子ども達にとっても、動物は触れ合いを通して思いやりのある個性豊かな感性を育む上で大きな役割を果たすと考えています。

一方、無責任な飼い主による飼育放棄、迷子の犬、猫、所有者がいない犬、猫など、自治体の愛護センターや保健所に引き取られる犬や猫の数は年間21万頭にも上り、その約8割がやむを得ず殺処分されている状況です。

法改正後の町においての2年間余りの取り組みについてですが、町で保護した犬については、狂犬病予防法に基づき犬原簿をもとに、犬の保護場所や犬の特徴を照らし合わせ、該当すると思われる犬の所有者を確認し、さら

に警察署への照会、また犬の写真入りの公告を行い、2日間ほど町で保護し、その間に飼い主からの連絡がない場合は青森県動物愛護センターへの引き取りを依頼しています。また、猫の保護につきましては、猫の飼い主がわからない場合がほとんどであり、事例としては不妊、去勢手術を行わずふえてしまった子猫が捨てられているといったものであり、これについても動物愛護センターへの引き取りをお願いしています。

そして、動物愛護センターでは県内で捕獲、引き取りした犬、猫のうち、健康で気質判定に合格したものを譲渡対象として、ワクチン接種と所有者明示のためのマイクロチップを挿入し、1頭3千円の手数料で譲渡しており、譲渡頭数については県全体で平成24年度が犬105頭、猫42匹、平成25年度が犬173頭、猫52匹、平成26年度が犬159頭、猫62匹と

なっており、法改正前と比べるとどちらも増加の傾向です。また、町から引き取りされた動物の追跡調査ですが、動物愛護センターへ問い合わせたところ、平成25年度は犬の引き取りが19頭、そのうち譲渡は1頭、飼い主への返還が1頭、殺処分が17頭、猫については引き取りが3匹で、全て殺処分となっています。平成26年度については、犬の引き取りが18頭、そのうち譲渡は7頭、飼い主への返還が1頭、殺処分が10頭で、猫については引き取りが7匹、そのうち譲渡が1匹、殺処分が6匹という状況であります。

また、県内市町村に先駆け、殺処分ゼロを宣言できる町の体制づくりに対する考えですが、平成26年6月に環境省より、人と動物が幸せに暮らす社会の実現プロジェクトアクションプランが発表され、この中で殺処分を

なくすための対策や取

り組み、検討事項等が示されており、その中でやはり重要なのは、自治体だけで主体的に取り組むのではなく、飼い主、住民、ボランティア、NPO、獣医師会など、ペットショップやブリーダー、企業、国、都道府県等の自治体が一体となつて取り組みを推進することが殺処分削減を大幅に進めることにつながると言われています。

町としても、一朝一夕に町単独で取り組むことは難しいものと受けとめており、動物愛護センターで開催されています動物愛護管理対策担当者会議等の場で県全体で取り組む方策を提言したいと考えています。

いづれにしても、命を大切にし、優しさあふれる人と動物が共生する社会の実現は、ひいては町が目指す「笑顔あふれるまちのへじ」につながっていくと考えています。



小坂 徹議員

ごみの減量対策とリサイクルの促進について

小坂議員

野辺地中学校文化祭において、日常生活における意識調査がなされ、道路、街路灯、ごみの問題がワースト3に挙げられ、中学生の目線から鋭く素直な生の声に対し、課題克服に取り組み必要性を感じますが、町は生徒の思いをどのように受けとめているのか、所見を伺います。

ごみの減量やリサイクルの推進は限りある資源を有効利用する循環型社会への転換が迫られています。今後人口減少が加速する中、ごみ処理量が増加傾向にあると考えますが、意識改革の啓発も含め

ての対策、改善等の計画について伺います。

情報発信により、ごみ減量と分別意識の向上を図りたい

中谷町長

人口減少と少子高齢化の進展、全国的な廃棄物の発生抑制、再利用、再生利用の高まりなど、自治体におけるごみ処理の最適化は喫緊の課題です。

町の取り組み内容は、ごみ減量対策として町ホームページや広報、チラシなどで、生ごみの水切りや白色トレイのスーパー等の分別ボックス利用促進等を推進、また今後として、衣類のリサイクルの推進を検討しており、ごみの減量や分別の徹底を図りたいと考えています。事業系ごみについては、一般廃棄物運搬許可業者と連携し、チラシを配布し減量化や再資源化の周知徹底を図ることとしています。それから、可燃ごみへの紙類の混入を少なくするように、具体的な分別方法や出し方

等を町ホームページや広報、チラシで再度周知し、分別意識の向上を図ります。

リサイクル率の向上の取り組みは、紙ごみリサイクルの推進として、エコステーションの継続、集団回収団体への奨励金交付事業の継続、また小型家電リサイクルの推進を北部上北広域事務組合の構成2町1村連携で実施したいと考えています。

野辺地中学校の生徒からもごみの問題について環境改善を求める声が上がっていることは、町として早急に取り組み課題と位置づけ、対策を考えていますが、ごみの減量化、リサイクル率の向上は、町民一人一人の取り組みへのご理解とご協力なくしては実現できないこともありますので、今後とも町民に向け、情報発信をしていきたいと考えています。

ごみステーションの環境保全等について

小坂議員

ごみステーションは町助成と地域の協働によって設置されてから古いもので20年近くありますが、修復は自治会、地域で対応してききましたが、破損、腐敗は思いのほか深刻です。ごみステーションの美化にある環境保全対策について伺います。

適切に整備計画を推進したい

中谷町長

ごみステーションの整備は、平成9年度から始まり、今年度までに313基が設置されています。近年では新たな整備だけではなく、修繕にも補助金の交付を行っており、昨年度までに合計29基の整備申請に対し補助金を交付しています。今年度は全自治会に対し、平成27～30年度までのごみステーションの整備要望箇所の意向調査を行い、5自治会から23カ所の要望が出ています。経年劣化による破損などは深刻な問題であり、設置要望箇所のみではなく、全ステー

ションの状況を調査し、適切な整備計画を推進したいと考えています。

ごみの収集業務の委託について

小坂議員

一、ごみ収集は、民間委託であるが、町直営時よりもサービス向上は果たされているのか。
二、委託業者に対する指導、管理体制は。
三、業務契約が複数年契約に変更され、雇用の安定等に生かされているが、そのほかのメリットは。
四、直営時と比較した場合、コストがどの程度経費で充当されているのか。

今後も町民サービス向上に努めたい

中谷町長

一、今年度から家庭ごみ収集運搬委託業務3地区と資源ごみ収集運搬委託業務全地区について、平成32年3月までの5カ年の長期継続契約を締結しました。いずれの委託業者も実績があり、経験豊富で

適正分別等の知識に精通し、住民サービスの向上に資しています。
二、収集運搬にかかわる課題が発生した場合等を含めて情報交換会を開催し、情報共有に努めています。
三、5年の長期契約でありますので、雇用の安定のほか、委託業者所有の収集運搬車両等の更新が計画的に推進できること等が考えられます。
四、町直営は平成4年度までで、平成27年度と単純に比較することはできないが、コストをあらあらで試算すると、約3割強の増額となります。物価スライダの推移等から、ほとんど差異はないと考えています。現在では土曜日や祭日も収集するなど、単純に金額で比較できない部分での収集業務の充実が図られています。今後ともごみ収集については町民サービス向上に努め、生活環境の整備を図りたいと考えています。

議会報告会開催内容について

議会報告会メインテーマ

- 1、復元弁財船みちのく丸の利活用について
- 2、まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（素案）、総合戦略（素案）
- 3、第2期野辺地町過疎地域自立促進計画（案）

議会報告会

- A班 蛭名猛・熊谷晴雄・江渡正樹・小坂徹・中谷謙一
B班 古林輝信・戸澤栄・岡山義廣・野村秀雄・柴崎伸也・野坂充
に分かれて、それぞれ3会場で行いました。

A班は、中央公民館・馬門公民館・有戸学習等供用センターで行い町民の皆様からのご意見は次の通りでした。

◎町民から

☆議会はどう議論されたのか聞きたい、今の報告は行政の説明をそのまま報告している。
☆北前船の報告書がなぜ半年も遅れたのかそれについて議員の方から質問等があったのか。
☆過疎債を使えるというが、危機感を感じないのか。過疎化ということは、不名誉なことではないのか。
☆起債を増やして事業をどんどんやるのは納得いかない。優先順位をきちんと決めてやってもらいたい。
☆駅前広場工事の状況について、説明してもらいたい。交通規制が変わったり、緑石が高くなったり危ない。
☆要望として5点お願いしたい。

一、中央公民館のスロープの位置を直してもらいたい。冬、障害者の方は歩けない。
一、空き家対策を早く進めていただきたい。
一、えぼし登山道の標識を立て替えてほしい。
一、野辺地川河川組合の実態は何なのか。説明いただきたい。
一、えぼしからまかど温泉に下る道路を整備していただきたい。
☆一般質問の内容や答弁を早く教えてもらえないか、ネット配信をしてほしい。
☆みちのく丸を常夜燈公園に陸揚げして展示するというが、あの駐車スペースで大丈夫なのか。陸揚げの具体的な計画は示されたのか。
☆役場はどのぐらいで建つのですか。
☆みちのく丸は、陸揚げしないとすぐシオムシに食われてしまうと思うので、陸揚げすると町ではどのぐらい予算を見

ているのか。管ドックを造ったほうが安く上ると思う。
☆映画等にも使われている、熱いうちにやらないと盛り上がりがないと思う。
☆働き場がないと人口増加はあり得ない。産業団地等を早く進めてもらいたい。
☆地元業者の育成を図ってもらいたい。
☆地元業者に活気が無いと町に税金が入らないし、若者もいなくなり、災害等に対応できない。
☆みちのく丸だけに金をかけて、他の行政サービスがおろそかにならないのか心配です。人口減少の話もありましたが、船を陸揚げしても観光客が多く来るとは思われません。その辺をチツクするのが議会ではないのか。我々は、議員に付託しているのですから。
☆野辺地大橋の欄干の下部分がぶらぶらして危険だと思

☆みちのく丸の利用計画に町民の声を町に届けるのが議員の役目です。資金計画が大事であり、議会・議員の考え方を伺いたい。
☆中学生が期待する野辺地高校とはどういう高校なのか、魅力がないといくら進めても地元の高校には行かないのが現状ではないのか。小・中・高の連携を図っていただきたい。トップは、他市の学校に行きますので狙うとすれば、次のクラスの近隣町村生徒を野辺地に呼び込むような計画を立てるべきだと思います。
☆人口増加のために、町の土地や家を建てたら補助金を出すと、何かかしらメリットのあるような政策を考えていただきたい。
☆漁協の前に複合施設道の駅を造ったら、むつ方面、青森方面の観光客を呼ぶことができるのではない

か。農林水産、観光、商業みんな手を取りあつてできるような施設を造ってもらいたい。
☆ふるさと納税でおみやげを上げているが、愛宕公園に納税者の名前を付けて桜の苗木を植えてもらうというアイデアはどうでしょうか。
◎議員から
☆町の重要な案件に対し行政・議会・町民の皆様と一緒に取り組まなければならない項目があります。説明した3件については、議会に於いて提言・提案していますが最終的ではありません。結論が出る前に町民の皆様よりご意見を頂くのが今回の議会報告会です。
☆除雪対策は、担当課の方で万全を期すというところで説明を受けております。議会でもお願いをしているところがあります。☆起債には項目があつて、事業の内容等が

決められており制約がありますので、年度ごとに優先順を決めて事業をしている現状であります。

☆あくまでも計画段階でありませんが、今、県と詰めの段階でありますので金額的なことは言えませんが、陸揚げは平成31年頃と計画されている。

☆過疎債を使って早く自立しなさいというのが目的であり、これを使って早く計画的に自立しなさいというのが国の方針であり、町の対応であります。議員より、産業振興費の中で、町負担金等を含めて検討されている。

☆町民に、案はパブリックコメントというかたちで公表したようですが、町民からの意見等はあまりなかったと聞いています。

☆定住促進も含めて今トップセールスをしているようですが、具体的なことは説明を受け

ていない。

☆観光ルートの中に、このみちのく丸構想を組み入れて町に観光客を引き付けるような物販施設等の複合施設を考えていきたい。

☆野辺地大橋については担当課に伝えて、現地を見てもらいませう。

☆メガソーラーの事業が来るということは報告ありましたが、その後の状況は報告がありません。

☆前町長の時の見積りは、最低でも16億ぐらいでしたので今では、18億とか20億ぐらいでしょう。これからの支援としては、防災拠点を含めたオフサイトセンターとしての機能をもった建物として造ることが一番いいのではないかと考えております。

☆計画の説明を受けたのが、9月の9日です。中身はまだはっきりしていない。地方創生や、過疎対策債等

の関係があり、中身が詰まっていないというのが現状です。

B班は、観光物産PRセンター・下袋町集会所・松ノ木平集会所で行い町民の皆様からのご意見は次の通りでした。

◎町民から

☆みちのく丸活用計画の説明を受けて、議会はどのように進めようとしているのか。

☆国勢調査では、毎回人口が下がってきているのに町民も議会もあまり騒がない。もっと関心を持ってもらいたい。

☆説明はたくさんあつて良かったが、説明のペーパーが欲しかった。

☆駅前前の工事はどこが設計しているのか。でっばったり、引

込んだり、大変不便だ。

☆空き家問題です。☆委員会に質問した議員の名前を書いてもらいたい。

☆過疎債はどのような事業に使えるのか。☆野辺地病院の耐震不足を過疎債で新築に入れることができないのか。

☆企業誘致は進んでいるのか。

☆野辺地病院へ行く時間がかりすぎる。☆弘前大学を卒業するとすぐ東京に行ってしまう。

☆人口減少に対する問題、本当に真剣に考えなければならぬ。☆自治会に入っていないのか。

◎議員から ☆最終的な活用計画については、十分協

議して進めて行く。☆28年度から31年度まで自走できるようにしておき、32年度に陸揚げする計画です。

☆樹木の伐採は終わっています。整地はま

☆説明会での約束が変更になったら、また地域住民に説明するべきだ。

☆今、町の条例をつくるように進めている。☆空き家調査は、今やっている最中です。

☆広報委員会で協議したい。

☆イベント、役場庁舎はだめです。公民館の修理等は良いです。☆過疎債を使うことが出来るか調査します。

☆なかなか思うようにいかない。

☆医師はどこでも少ない状態で大変です。各市町村奨学金(将来医大卒業時に地元就職を前提にした制度)をつくり弘前大学にやっつけているが、地域に貼り付けできるのが2~5年先となります。

☆まだ決めていないようです。それぞれの自治体のみならず、自治体がみならず、自治体以外は使われない。

☆町から補助金を貰ってやっているので、自治体以外に使われない。

	40代	50代	60代	70代	80代	合計
男性	4		3	8	1	16
女性			3	4		7

委員会報告

総務
常任委員会

11月9日

学校教育課

小学校3校の耐震補強等工事の進捗状況について説明を受けました。

委員質問

『工事に伴い、子ども達への粉塵被害等が心配です。その対応は』

課長回答

「内側から目張りをしたり、工程管理等で騒音が出る工事は日程調整して進めています」

委員要望

『小中学校のスポーツ、文化面で活躍が目立つ。マスメディア等に取り上げてもらえるようにしてほしい』

教育長回答

「報道していただけるよう働きかけたい」

学校給食共同調理場

学校給食費の口座振替について説明を受けました。
委員質問

『不納欠損処分したいとのことですが、その根拠は』

調整監回答

「条例等はこれから整備したいと思います。所在不明者や死亡者等について、欠損処分したい」

委員質問

『平成26年度の滞納額が少ないが徴収方法を変えたのか』

調整監回答

「26年度より保護者から給食利用の同意書を取っていることと、滞納のときは、児童手当から引いてもいいという誓約書ももらっています」

社会教育・スポーツ課

事業の実施報告と今後の予定事業、文化財の指定と赤塗塗木鉢の修理などについて説明を受けました。

委員質問

『文化祭等において、遠方の方々にバスを出すことができないか』

課長回答

「担当課とも協議し、

前向きに検討したい」
委員質問

『町文化財の指定に至るまでの経緯は』

課長回答

「町文化財保護審議会と協議、最終的に教育委員会が決定します」

総務課

2016年1月からマイナンバー個人番号の利用が開始され、社会保障、税、災害対策分野のほか、市町村等で独自条例に定めた業務等に利用されますと説明を受けました。

委員質問

『法律は出来たが中身はまだですね』

課長回答

「政省令等を出ているが、地方公共団体は国のスケジュールより遅れています」

防災安全課

空き家データベース作成業務の委託契約、県原子力防災訓練の実施などについて説明を受けました。

委員質問

『条例を制定する準備をしているのか』

課長回答

「条例の素案はできていますが、中身の精査については、今後各課と協議します」

委員質問

『全町挙げての防災訓練の計画はあるのか』

課長回答

「全町挙げての計画はありません」

委員質問

『食料品の備蓄賞味期限はどのぐらいか』

課長回答

「備蓄している非常食は5年です」

地域戦略課

原子力立地給付金減額支援助成金交付事業、メガソーラーの設置等について説明を受けました。

委員質問

『立地給付金の通知方法で、直接該当者に通知できないか』

課長回答

「昨年度課税されているかいないかという大前提があるので、申請主義にしています」

委員質問

課長回答

「6000世帯のうち、1200世帯位、受給されています」

委員質問

『メガソーラーの伐採関係と地元企業の参入について聞きたい』

課長回答

「立木補償は、事業者より2066万円余りが町に納入され、伐採については、地元林業関係業者も参入できるよう、要請したい」

委員質問

『工程表では、伐採は終わっているが』

課長回答

「林地開発同意の手続中で、全体的に遅れぎみです」

委員質問

『サントリー跡地に、メガソーラーのほかに企業誘致の話はあるか』

課長回答

「具体的なことはありません」

介護・福祉課

認知症対応型共同生活介護施設（グループホーム）の指定について説明を受けました。

委員質問

『2事業者より指定申請したとのことだが、どのような手続きを踏んで決まったのか』

課長回答

「町地域密着サービス運営委員会を開催、委員から意見を聴取して指定候補事業者を決定しました」

委員質問

『地元業者の育成も必要ではないか』

課長回答

「介護保険計画の7期計画時に検討したい」

委員要望

『介護は地域密着型が住民は喜ぶと思うので再考をお願いしたい』

課長回答

「地元の事業者の優先も含め、今後の計画において検討したい」

地域活動の紹介



下町二区人生会

やすらぎ広場の草刈作業のようす

(委員会報告の続き)
東北電力東通原発では、金沢所長より挨拶をいただき、阿部副所長より原子力発電所1号機の概要や安全対策としての地震対策、外部電源対策、津波浸水対策、電源確保・冷却機能確保対策など、また、佐藤副所長から断層調査の結果について説明を受けました。その後、施設内部とトレンチの現場を視察見学しました。
議員より『地域住民の安心・安全を第一義に考慮して事業を進めていただきたい』と要望がありました。

議会運営委員会 (諸般の報告)

11月25日

11月5日、6日、9日の3日間2班に分かれ実施した議会報告会について、報告しました。

議会報告会での町民からの要望等につきましては、本誌7頁から8頁に掲載しています。

議会の動き

11月5日	議会報告会 A班 中央公民館 B班 観光物産PRセンター
6日	議会報告会 A班 馬門公民館 B班 下袋町集会所
9日	総務常任委員会 議会報告会
17日	A班 有戸学習等共用センター B班 松ノ木平集会所
25日	原子力エネルギー対策特別委員会 議会運営委員会
12月2日	第7回12月定例会 開会 議員総会
3日	12月定例会 一般質問
4日	12月定例会 議案等審議 議員説明会
18日	平成27年度 スキー場開き
25日	広報委員会 新年祝賀会
1月4日	消防出初式 成人式
6日	成人式
10日	成人式
14日	議員説明会、議会運営委員会 広報委員会
20日	広報委員会

地域活動写真募集!!

議会広報委員会では、町内で活動しています団体の活動を『地域活動の紹介』と題して、議会だよりに掲載いたします。
町内で活動されている団体の活動写真を募集いたします。
応募方法は、郵便・持参、どちらも可能です。
御連絡先は、必ずお知らせください。

詳細、問い合わせ先
野辺地町議会事務局
電話 64-2111
内線 253・254

3月定例会の予定

- 2日(水) 開会、議案等審議
・町長が議案の提案理由を説明します。
- 各委員会の委員長が活動の報告をします。
- 15日(火) 一般質問
・議員本人があらかじめ提示したテーマで質問し、それに町長ほか町執行部が答えます。
- 16日(水) ～ 18日(金) 議案等審議
・定例会初日に説明された議案に対し、質疑・討論・採択が行われます。
- 開会時間 9時30分
18日(金) 13時30分
- 日程変更等があるかもしれないので、詳しくは議会事務局までご連絡ください。

議会を傍聴しませんか?
開催日は、

3月2日

からの予定です。

傍聴者数

平成27年第7回(12月)定例会 24人